

# 玉虫沼

(たまむしぬま)



沼のシンボル「笠松」



幻想的な沼の風景

## ため池の概要

### ため池の所在地

山形県東村山郡山辺町

### ため池の特徴

玉虫沼は応永年間(14世紀末)を起源とする県内最古のため池とされています。沼の岬には、沼のシンボルともいふべき「笠松」(樹齢300年のアカマツ)が植えられ、その根元には石の玉虫大明神の祠が祭られており、また「玉虫姫」という沼にまつわる民話が伝えられています。

沼は、宝暦12年(1762年)の大修復をはじめ幾度となく改修が行われて現在に至っており、今も農地約120haを潤しています。また、沼の水は地元集落49世帯や、小・中学校など74件の飲料水にも使われています。

玉虫沼を中心とした一帯は「山辺西部湖畔自然休養村」に指定され、沼を巡る周遊道などを備えた農村公園が整備されており、自然に親しめるレクリエーションの場になっています。

沼の周りには桜の木(ソメイヨシノ)が植えられ、春には花見を楽しむことができます。また、へら鮒釣りのメッカとしても有名で、県内の愛好者のみならず、県外からも釣り客が訪れています。

地元有志により「玉虫沼環境を守る会」が組織され、沼周辺の清掃やごみの持ち帰り運動などを推進しています。

## 関連情報